

グリーンピーク、欧州宇宙機関によって推奨を受ける

グリーンピークの通信コントローラチップの無線性能、堅牢性が評価

2011年10月4日オランダ、ユトレヒト発

ファブレス半導体設計のリーディングカンパニー、[グリーンピーク・テクノロジーズ社](#)は、同社の無線通信コントローラチップが、欧州宇宙機関（ESA および ESTEC）によって航空宇宙用途での使用検討のため性能評価されていましたが、その卓越した無線性能、超低消費電力と干渉に対する優れた堅牢性が認められ、推奨を受けたと発表しました。

ESTEC（欧州宇宙技術研究センター、European Space Research and Technology Centre）は、欧州宇宙機関における技術の中心であり、欧州宇宙機関のほとんどのプロジェクトの様々な開発フェーズを取り仕切る欧州宇宙開発のインキュベータです。

人工衛星を軽量化するため、欧州宇宙機関の技術者は人工衛星内外にあるセンサー用の通信ケーブルを無線化する事を検討しています。そこで使用される無線通信技術には、実使用環境での実績があり、人工衛星用途で優れた無線性能が提供できるよう設計されている事が要求されます。具体的には、高い信頼性、非常に長いバッテリー寿命時間（15年以上）、干渉に対する堅牢性です。

欧州宇宙機関でコンピュータ・データ処理エンジニアのジャン＝フランソワ・デュフル（Jean-François Dufour）氏は以下のように述べています。「人工衛星に搭載され、地上実験でも使用されるハーネスの複雑さを軽減するため、欧州宇宙機関では、そのセンサー用途に使用できる、市販の無線通信技術を探していました。グリーンピーク社の IEEE802.15.4-2006 シリコンには、長時間にわたるメンテナンスフリーが求められるミッションに必要な超低消費電力特性、人工衛星システム内で堅牢な通信性能を発揮するアンテナ・ダイバーシティについて評価を行いました。その結果、このシリコンの品質およびグリーンピーク社のエンジニアの献身的なサポートにとっても満足することができました。」

グリーンピーク社の最高経営責任者（CEO）のケース・リンクス（Cees links）は、次のように述べています。「私たちは、弊社製品が欧州宇宙機関のさまざまな評価試験にパスし、そのチャレンジに応えることができ大変うれしく思います。欧州宇宙機関との協働は、ユニークな品質の証しであるとともに弊社製品が優れた性能を必要とする最も要求の厳しいアプリケーションでの使用に適していることを示しています。」

グリーンピーク社について、

グリーンピーク・テクノロジーズ社は、ファブレス セミコンダクタ設計会社で、家電製品向けに高集積の IEEE 802.15.4/ZigBee RF4CE ソリューションを提供するリーディング カンパニーです。

グリーンピーク社は、オランダのユトレヒト本社のほかにベルギーのゼーラ、日本、韓国に拠点があります。

投資家情報： Gimv（ベルギー）、DFJ Esprit（英国）、Robert Bosch Venture Capital（ドイツ）、Allegro Investment Fund（ベルギー）

Twitter

<http://twitter.com/#!/GreenPeak>

お客様問い合わせ先

グリーンピーク・テクノロジーズ

古野 敬典 - ディレクタ、ビジネス・ディベロップメント

yoshi.furuno@greenpeak.com

Tel (03) 3490-2110

報道関係者様問い合わせ先

株式会社トークス

松本珠代

matsumoto.t@pr-toocs.co.jp

Tel (03) 3261-7715

Press Contact GreenPeak

Elly Schietse

elly.schietse@greenpeak.com

Tel +32 52 45 87 30

Cell +32 479 76 18 25

Press Images & Logos

高画質のロゴ、製品写真やイメージ、経営陣の写真、その他の情報につきましては弊社のウェブサイトをご参照下さい。

www.greenpeak.com/press/